

# 大森だより



R3. 2月号 No.78

## 新年会



おみくじ



伏見宮司による  
ご祈祷...? (笑)



獅子舞



参拝



女性職員による踊り

今年の新年会が新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの方々はお呼びせず、テイクサービス手作りの伏見神社で参拝をしていただきました！お賽銭を投げてもらったり、おみくじを引いてもらったり手作りの新年会でしたが、みなさんに楽しんでいただけたようでうれしく思います！今年も皆様にとって、いい一年になりますように☆



## 福笑い



お正月といえば、福笑い！目隠しはしませんが、目や口のパーツを座った場所から狙いを定めて投げて、顔を完成させていきます☆素敵な顔を作ってもらい、大笑いでした♪

## 山崩しゲーム



お手玉が積み重なった山から、一つずつ取っていき、真ん中の旗を倒した方の負けとなります！迷わずに取る方もいれば、時間をかけて悩む方もあり、白熱していました！

## 今月の壁画 1月はお宮♪



大森テイのお宮は大盛況で、毎日参拝者が後を絶ちません！皆様には、招き猫の塗り絵をして頂きました☆

## 今月の特集 ～節分について～

「節分」には豆をまきますが、なぜ豆をまくのでしょうか？以下の説がよく挙げられています。

- ・豆は「魔を減する→魔滅→マメ」に通じ、語呂が良いから
  - ・五穀(米、麦、アウ、キビ、豆)の中では一番痛いから
- 元々日本には散供(さんぐ)という、穀物をばらまく事でお祓いやお清めをする考えがありました。神社などで散米(さんまい)をする様子は、今でも見かけます。豆まきには「鬼を打ち払う」と「豆を投げ与えて恵み、静まってもらう」という2つの意味が込められています。五穀には霊力があり、まいた場所は清められ、聖域になるという考えです。だからこそ「福は内」では室内にも向かって投げるし、拾って食べるのだそうです。